学部 / 看護専門領域 / 看護の実践
科目コード:130044

統合実習 Integrative Practicum

担当教員	看護教員全員											
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院等の勤務経験がある。											
開講年次	4年次前期		単位数		2		授業形態		実習			
必修・選択	必修		時間数		90							
該当ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)	◎	(6)	○
Keywords	継続看護、ケアの質保証、チーム医療、リーダーシップ、メンバーシップ、専門職間連携、安全管理											
学習目的・目標	【学修目的】 施設における療養生活と継続看護を支える実際、またその後の地域における人々の健康生活を支援する保健・医療・福祉体制の実際とその連携を理解し、チーム医療の中で看護師としてのリーダーシップ、メンバーシップを実践する能力を養う。 【学修目標】 1. 健康障害を有する人々が地域(在宅)－外来－病棟の場で、療養を継続するための医療・看護組織のシステムと地域および専門職間の連携の実践を知り、チーム医療における看護の役割と機能を理解する。 1)一貫性・継続性ある看護ケアの提供システムを理解する。 ①病棟の看護ケア提供システム ②病棟－外来－在宅の継続システム(病棟－外来一元化システムや入退院支援センター等含む) 2)看護チームの一員としてのリーダーシップ、メンバーシップのあり方を理解する。 3)看護業務遂行におけるタイムマネジメントと役割分担、優先順位の決定を理解する。 4)看護チームの一員として、メンバーとともにケアを実施する。 5)退院支援の医療チームカンファレンスに参加し、看護チームおよび看護師の役割・機能を理解する。 6)外来患者の療養生活を理解し、外来看護のあり方を考える。 7)地域連携および専門職間連携の実際を理解し、外来看護の役割・機能を理解する。 2. 安全・安楽な医療・療養環境を保証するためのシステム・整備および看護師の調整役割を理解する。 1)薬物療法に関する指示受けと確実な実行を理解する。 2)医療用消耗品・備品の管理システムを理解する。 3)入院患者の安全・安楽な療養環境の保持を理解する。											

授業計画・内容

回	内容
	【実習内容】 1. 病棟実習 1)一貫性・継続性ある看護ケアの提供システム ①病棟の看護ケア提供システム ②病棟－外来－在宅の継続システム 2)看護チームの一員としてのリーダーシップ、メンバーシップのあり方 3)看護業務遂行におけるタイムマネジメントと役割分担、優先順位の決定 4)看護チームの一員としての看護ケアの実施 5)退院支援のチームカンファレンスでの看護チームおよび看護師の役割・機能 6)医師の指示受けと確実な実行 7)医療用消耗品・備品の管理システム 8)入院患者の安全・安楽な療養環境の保持 2. 外来実習 1)一貫性・継続性ある看護ケアの提供システム ①病棟－外来－在宅の継続システム(入退院支援センターなど) 2)地域で生活する人の在宅での療養生活と必要な看護支援 3)継続看護における看護連携の必要性 4)看護職以外の専門職が担う役割や専門性を理解し、チーム医療を発揮するために看護職と他職種との協働 5)地域社会で生活する人々の保健・医療・福祉のニーズを充足するための地域連携の実際 6)外来看護の役割・機能の理解と今後のあり方 【実習方法】 1. 実習課題の明確化および実習計画立案 2. 各実習場所との調整 3. 病棟実習 1)看護チームの一員となり、リーダーとメンバーとともに行動する。 2)看護師長又は副師長に、実習内容について、説明を受けたり、観察、資料閲覧を行う。 4. 外来実習 1)外来看護師と共に行動し、外来看護(看護連携、各部門(専門職間連携))を体験する。 2)通院加療中の患者1～2名、可能ならば、外来から入院となる患者1名を受け持つ。 3)受け持った患者の情報や患者との関わりを通して、通院しながら在宅で療養する患者の理解を深め、必要な看護援助をアセスメントする。また、継続看護を行う上での課題を明らかにする。 4)専門職間連携の実際を通して、チームの中での看護の役割を考える。 5. 実習まとめ 1)実習での学びを共有し、一人ひとりの理解を拡張・深化させるために、テーマ別の課題について、学びをまとめ、発表する。

教科書	系統看護学講座専門5 成人看護学総論(医学書院)、統合分野 看護管理 看護の統合と実践①(医学書院)
参考図書等	在宅看護学 改訂第2版(南江堂)
評価指標	実習目標の達成状況(70%)、看護専門職に必要な態度(30%)を実習内容及び実習記録やプレゼンテーション、最終課題レポートから評価する。

関連科目	看護キャリア形成論、これまで学んだ全ての科目
教員から学生へのメッセージ	これまで修得した知識・技術、経験から得た学びを思う存分発揮し、生活者である人々の健康問題に対応するために、どのような専門職と連携する必要があるのか、場所を問わず人々に必要な看護ケアを提供することを学修します。